

「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果

―その研究領域の一般活用と手続き―

(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)

萩原 義雄

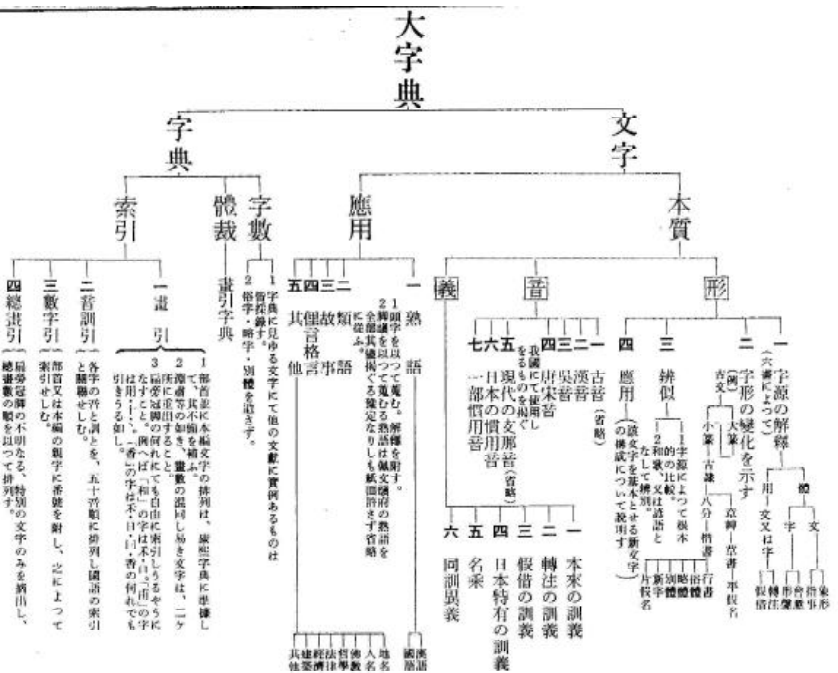
東アジア文化圏の時代

漢文・漢字を共有し、儒教の伝統を根底に秘めたこの文化圏は、この本邦である日本を先魁として、二十一世紀国際社会のなかで一つの文明形態を生み出そうとしています。今、比較的穏やかな気候・風土に恵まれたこの東アジア文化圏から、「対立よりも調和」、「分裂よりも融合」、「我よりも我々」-1-を基調に、人と人が、また、自然と人間とが共に生き、支え合いながら、共に繁栄していこうという心的傾向を知っておかねばなりません。儒教の精神に加えて、仏教の精神も見逃してはなりません。「山川草木悉皆成仏」に象徴される自然と正に「共生」しようとする意志ある思潮は、環境破壊や資源・エネルギー問題等が生活のなかで深刻化し、これから人はどう歩み続けるのかを模索し実践し、人らしく生きようと精進努力を重ねていくでしょう。この精気こそが私たちにあって「水の一滴」に等しいのかも知れません。

東アジア文化圏の言語

西欧の言語圏が言語の本質を「音声」にあるとするのに対し、漢文・漢字圏は、「視覚映像」を基

内容一覽表



調とします。「絵文字」・「象形文字」・「音節文字」「単音文字」という展開です。逆に、「音声」に不可欠な「音素」そのものが数のうえで僅かに二十というのが日本語の特徴でもあります。ですが、日本語の文字体系や表記体系は細に入れば入るほど複雑な構造を有していて、日本人の小学生・中学生・高校生・大学生・一般社会人・専門知識人といった段階型のレベル層が自ずと出現せざるをえません。ですが、レベルアップをするのは意外と容易なのかも知れません。

漢字コードで、「水」の文字を覚え、これが更に原型文字系「泉(いずみ)」「森(おのみず)」と「シ」と「シ」の二種類に分化し、そこに文字が配置されていくことになります。たとえば、「シ」に「水」で「氷(こおり)」:「冷(つめたい)」:「凍(こおる)」:「凝(こる)」。シに「水」で「泳(およぶ)」:「江(え)水溜まり」:「湖(みずうみ)・池(いけ)・澤(さわ)・沚(なぎさ)・汀(みぎは)・渚(なぎさ)」と意味の異なりが生じていくのです。「シ」の文字のなかには、原型文字系から移行し

た古体「粟」の文字が「酒(あらう)」といった文字になるのも含まれたりしています。ですから、「海(うみ)」も「棗」の文字を持っています。「シ」の漢字文字は、『廣漢和字典』に約七四四字を収載しています。こうした漢字文字は、本質と応用とに二分類し、本質は「形・音・義」の三分割され、『大字典』の表を御覧願います。ここで、「転注」を例にとつて説明すれば、

「風」(風雨)―風(風教)―風(風俗)―風(國風)
 (風(風刺)) 風(風諷)

のように、連関しつづけながら、意味的広がり始めていきます。このようにして、次の「仮借」をも含め、文字の広がりダイナミックな形態にいきます。いわば、小画面画像からワイドな大画面画像へと変容させていくものがこの文字から見て取れるのではないのでしょうか。ここから、音の話をする必要が生じてきます。こうした文字を例えば「山」で云えば、中国人が読む場合は、「shān」。韓国人は「山」。日本人は「サン・セン」と読んでいます。読み方が異なれば当然、意味理解に及ぶことが難しくなります。ですが、文字を筆記することで共通した意味理を相互に始めることができます。正に不思議な言語文化の世界といえるでしょう。この漢字を用いてきた民族として、中国漢民族・朝鮮・日本そしてベトナムといった四つの民族がいるわけですが、ここで最後の国ベトナムについてですが、ことばを表すにふさわしい偏と旁を改組して一四世紀に「字喃」の「様」「芻」文字を創作しました。朝鮮では約五〇〇年前、一五世紀半ばに「諺文」訓民正音(音素文字)が考案され、この文字も時代を経過することで変容してきました。そして日本で案出されたのは「かな・カナ」文字となります。ですが、漢字に訓(釈)を用いて表現する形態は韓国(吏読・口訣・郷札)と日本だけでした。各地に遺る地名がこのことを示唆してくれています。例えば「我孫子」などの漢字書きの熟語地名を同じ漢字を用いる他国の人が見たら何と思うのかと考えるだけでも奇妙奇天烈さが表出していきます。

● ハングル五十音表

あ行	아	あ	이	い	우	う	에	え	오	お
か行	카	か	키	き	쿠	く	케	け	코	こ
さ行	사	さ	시	し	수	す	세	せ	소	そ
た行	타	た	치	ち	추	つ	테	て	토	と
な行	나	な	니	に	누	ぬ	네	ね	노	の
は行	하	は	히	ひ	후	ふ	헤	へ	호	ほ
ま行	마	ま	미	み	무	む	메	め	모	も
や行	야	や			유	ゆ			요	よ
ら行	라	ら	리	り	루	る	레	れ	로	ろ
わ行	와	わ								
					* ㅅ				* ㅌ	
が行	가	が	기	ぎ	구	ぐ	게	げ	고	ご
ざ行	자	ざ	지	じ	주	ず	जे	ぜ	조	ぞ
だ行	다	だ	디	ぢ	두	づ	데	で	도	ど
ば行	바	ば	비	び	부	ぶ	베	べ	보	ぼ
ぱ行	파	ぱ	피	ひ	푸	ぶ	페	ぺ	포	ぽ
	카	きゃ			쿠	きゅ			코	きょ
	사	しゃ			수	しゅ			소	しよ
	차	ちゃ			추	ちゅ			초	ちよ
	나	にゃ			누	にゅ			노	にょ
	마	みゃ			무	みゅ			모	みよ
	라	りゃ			루	りゅ			로	りよ

《註記》

これは、隣国である韓国語の文字と日本語のひらがなとを 対照にして示した「ハングル五十音」と日本語と韓国語とが意味を類似することばの一覧表です。

日本語と韓国語の良く似た意味と発音集

破産 파산	無罪 무죄	在庫 재고	自宅 가정	家族 가족	態度 태도	十分 십분	地図 지도	疲労 피로
注冊 등록	特等 특등	料理 요리	看板 간판	真珠 진주	世紀 세기	高麗 고려	男女 남녀	評價 평가
車 차	技能 기술	茶 차	農民 농민	大陸 대륙	信 신	半島 반도	沙漠 사막	宇宙 우주
種類 종류	湿度 습도	日当 일당	植物 식물	全部 전부	精治 정치	無罪 무죄	公示 공시	遵守 준수
加計 가계	世襲 세襲	心身 심신	武道 무도	昨夜 제야	大切 중대	重要 중요	工具 공구	中継 중계
汽車 기차	大船 대선	握手 수취	主婦 주부	神父 신부	台風 태풍	氣温 기온	医者 의사	写真 사진
書簿 서부	記憶 기억	要領 요령	幸福 행복	振替 계좌	到着 도착	時間 시간	失礼 실례	失礼 실례
教師 교사	公務 공무	子供 아이	夜間 야간	新年 신년	無職 무직	妻 아내	勿論 물론	洋式 양식
住所 주소	浴槽 욕조	地下鉄 지하철	紹介 소개	歌手 가수	山 산	門 문	民族 민족	歩道 보도
野球 야구	夫婦 부부	不足 부족	水泳 수영	握手 수취	不便 불편	将棋 장기	読書 독서	上品 上品
失礼 실례	春夏秋冬 春夏秋冬	深夜 심야	中国 중국	鎮痛 진통	追加 추가	人気 인기	人形 인형	人情 인정
乗る 타다	不景気 불경기	物価 물가	ぶどう 포도	便器 변기	万年筆 만년필	土産 みやげ	無理 무리	有名 유명
洋酒 양주	老人 노인	紛失 분실	盗難 도난	事故 사고	生理 생리	成った 나았다	処置 처치	得 득
試合 시합	名所 명소	首都 수도	由來 유래	公園 공원	洞窟 동굴	競技場 경기장	寶石 보석	眞珠 진주
二重 이중	袋詰 주머니	試食 시식	乳液 유액	美容室 미용실	洗顔料 세안료	送料 배송료	そろそろ 스르르	同僚 동료
建築 건축	記 기	上 위	中 중	子 자	南大門 남대문	内助 내주	治った 치냈다	豆 콩
運 운	山 산	新 신	公 공	國 국	車 차	氣 기	夜 야	水 물
古 고	園 원	年 년	官 관	國 국	車 차	氣 기	夜 야	水 물

これはほんの一部です。まだまだいっぱいあります。

次に、漢文文化圏から外れているが、契丹族(モンゴル東部に住む)による「契丹文字」も漢字の影響を受けた表意文字といえるでしょう。興宗・道宗及びその妃の碑文などが知られています。これが後に金の「女真文字」の先駆となっています。一三世紀には、モンゴル族の王朝をジンギス・ハーンが開いて「モンゴル文字」が用いられるようになっていきます。この王朝は一〇〇を超える部族を統括する征服王朝であり、やがて漢民族の王朝宋を滅亡させ、世界最大の帝国元を建てました。このモンゴル文字には、二種類あって、ウイグル系モンゴル文字とチベット文字を基盤にしたパスパ文字とがあります。この「パスパ文字」は、フビライがチベット僧 Hphags-pa (ハ思巴) に命じて創らせた方形文字で一二六九年から約一〇〇年間用いられました。前者の方は近代まで使用されてきています。

さらに、チベット系のタングート族が一〇三八年、西夏を建て、結合文字である「西夏文字」を普及させています。この文字も漢字の性格に類似するものです。

《補注》

- ※1 「契丹文字」… http://www.um.u-tokyo.ac.jp/DM_CD/DM_CONT/KITTAN/HOME.HTM
- ※2 「パスパ文字」… http://www.sanseido-publ.co.jp/publ/pdf/gengo_moji_mihon733.pdf
- ※3 「西夏文字」… <http://www3.aaf.ufrs.ac.jp/~maka/aacode/aacode.htm>

参考ホームページ… KEN-CHIK LIBRARY インターネット上の基礎知識
 NDC000-299 情報科学哲学/歴史 Computer, Philosophy, History
<http://www.h3.dion.ne.jp/~skmanabe/NDC000-399.html>

「漢字」の流動性とその基盤文化

漢字が流入する特徴は、

I 漢字をそのまま使用する言語段階

- (1) 漢字を漢字として漢文のなかに用いる
- (2) 漢字・漢文で思想・感情を表現する
- (3) 固有名詞から漢字による土着語の表音化がはじまる
- (4) 土着語のシンタックスを表した漢字文が用いられる
- (5) 接辞や助詞の表記がはじまる
- (6) 漢字の訓読がうまれる

II 新しい文字を考案する言語段階

- (8) 漢字を変形する
- (9) 漢字の構造原理を組み合わせる
- (10) 漢字を改造する
- (11) 漢字の象形原理を模倣する
- (12) 形だけ漢字を装う異形の文字を表す

III 別系統の文字を使用する言語段階

- (13) モンゴル文字
- (14) ヨーロッパ系のアルファベット文字を導入する

《コラム》中西進先生が『日本語の力』〔集英社文庫、二〇〇六年刊〕の「多根ことばの共生」〔70頁〕なかで、

「わたつみ」は、海を意味する韓国語のパタと日本語のウミが一つになったことばだ。更に続けて、この韓国から姫神が渡ってきてヒメコソの神社に鎮座したと『古事記』にある。これも姫を意味するコソという韓国語が日本語のヒメと結合したものである。アイヌ語のピラはもつと多く見られる。比良坂、弊羅坂と『古事記』に登場する。のは、同じ坂の意味の二カ国語が一つの単語を作ったことになる。現代の田平さんという姓は、日本語だけの田坂さんと同じである。

さらにこんな例もある。これまた『古事記』に、少名毘古那の神が羅摩の船に乗り、鷺の姿をしてやって来た。その時、だれもこの神さまの名を知らなかったのに、多迹具久が「久延毘古が知っているだろう」といったとある。久延毘古は「山田の曾富騰」のことだという注がついている。

鷺は当時ヒヒルと言っていた（『靈異記』下十八話）。沖縄ではハベルといったことが知られていて、これをサンスクリット語が日本にも入っていた證據になる。だからこの神話でもヒヒルと訓まれるのがふつうだが、一方、蛾をガと発音していたことも「陰尔蚊蛾欲布」「妹蛾咲状思」（『万葉集』卷十一—二六四二）などからわかる。

さらにタニグクという日本語の漢語は蝦蟆、韓国語らしいソホドは日本語ではクエビコ（足が不自由な男）、いまはカガシとよばれる。ちなみにカガミとはがが芋のことで、南の海上はるかな彼方から渡来してきた芋の名であろう。日本語のトロロ芋が南方のタロ芋の訛りであることとひとしい。

すると、この神話はガがガイモの船に乗ってやって来たところ、カガシが知っているだろう

とガマがいったという話になる。とんだ語呂合わせが裏にかくされていたらしい。別の発音で読めば、ヒヒルがカガミの船に乗ってきて、ソホドが知っているとかタニグクがいったというまことしやかな話なのだ。

日本語の豊かさは、この多根言語の共生にある。他が他を抹消などしない。やさしい言語なのだから「布クローズ」ということばも、大切にしていきたい。

と説明している。

《コラムその2》異国漢字文字への関心〔古典籍資料のなかの「外国語」―文字・活字文化の日にちなんで―より http://www.library.pref.osaka.jp/nakato/shotenji/74_gai.html〕

『吾妻鏡』に記された「文字」をめぐる、江戸時代の儒学者林羅山は、朝鮮通信使に意見を求めたことがあります。今まで見たこともない文字がいったい何と書かれているのか。かつての日本人にとっても、それは大きな関心事でした。右に掲げた文字について、朝鮮通信使文弘績も興味をもって「王国貴族」と読むのではないかと推論しています。

なお、後になってこの文字は女真文字で、「**国之誠**」という意味であり、この文字の記されていた銀簡は通行手形のようなものであったことが分かりました。一九七六年には、当時のソ連で同じ文字が記された実物も発見されているとのこと。

○『吾妻鏡』52巻25冊 杉田良庵 寛永三（一六二六）【324.1.2】

○『羅山先生全集』58冊 荒川宗長 寛文二（一六六二）【233.88】

○『女真訳語』2冊 （民国）羅福成編 刊 【280.4】

